

総合教育会議

～部活動の地域展開～

1

木津川市教育委員会
令和8年1月26日(月)

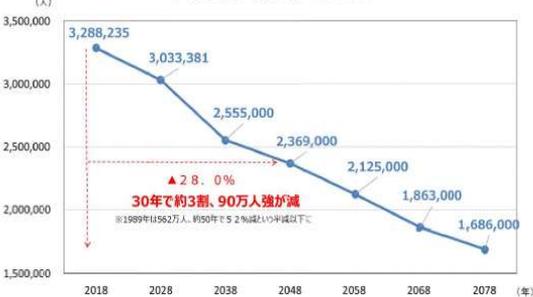
<背景> 少子化・人口減少の加速化

2

少子化・人口減少の加速化

- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で**生徒数/学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難。**

中学生世代の今後の人口動向の推計



中学生世代の人口数は4月1日時点において12～14歳の者の数
厚生労働省作成「人口動態統計」月報(2017年5月)に基づき算出する。また、将来の出生者数について、国立社会保険・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」の「1.出生中位(死亡中位)推計」を基に算出。

運動部当たりの参加人数(中学生)

- 1運動部当たりの**参加人数は近年減少傾向**にあり、令和3年度については、16.4人である。



(出典) 日本中学校体育連盟の調査を基に本庁において作成

スポーツ庁「運動部活動の地域移行と地域スポーツ環境の整備について」(令和4年9月)より

5

『地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議 R7.5.16最終とりまとめ』より(一部抜粋)

<改革の主目的>

急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実する。

- 中学生世代の人口はさらに減少し、このタイミングで改革にむけて取組を加速させなければ、子ども達に豊かなスポーツ・文化芸術活動の機会を保障できなくなる。
- 学校部活動を地域が主体となる地域クラブ活動にしていくことは、「子どもたちの活動をより豊かで幅広いものにするとともに、スポーツ・文化芸術全体の発展のチャンス」である。
- これまで部活動は教員が指導を担うことを前提に運営されてきたが、その体制は限界にきている。学校内の人的・物的資源によって運営されてきた活動を、地域に存在する人的・物的資源を活用しながら地域全体で支えることで「新たな価値を創出し」、「より豊かで幅広い活動機会の保障」を目指す。
- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

6

『地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議 R7.5.16最終とりまとめ』より(一部抜粋)

- 「休日」について

次期改革実行期間(2026～2031年度)内に、原則すべての学校部活動が地域展開の実現を目指す。できるだけ前倒しを目指す。現時点で着手していない自治体は、次期実行期間の前期(2026～2028年度)の間に、確実に休日の地域展開に着手する。
- 「平日」について

前期中に自治体の実現可能な活動の在り方や課題対応について国が検証を行う。自治体においては、平日・休日をとおした地域クラブ活動を包括的に企画・調整し取組を実施する。

7

『地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議 R7.5.16最終とりまとめ』より(一部抜粋)

- 「費用負担」

国において、受益者負担と公的負担とのバランスの在り方を検討する必要がある。生徒の体験格差が広がったり、自治体間でばらつきが出ないように、保護者の受益者負担について、金額の目安を検討する。経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要がある。

- 「地域クラブ活動の定義・要件、認定方法」

国が示し、質を担保する。

- 「新たな価値」の例

複数の競技種目に取り組むマルチスポーツ、学校の垣根を超えた繋がり、地域の人との交流、引退のない継続的な活動 など

- 自治体における推進体制の整備

専門部署や総括コーディネーターの配置等適切な推進体制を整備。複数の市町村による広域連携も重要。

8

<部活動の教育的意義>

『異年齢との交流の中で好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養など、生徒の自主的で多様な学びの場』

京都府教育委員会「京都府学校部活動及び地域クラブ活動推進指針」（令和6年3月）より

<教育的意義の例>

- ① 体力の向上、健康の増進、感性・創造性・表現力の育成
- ② 自主性、協調性、責任感、連帯感などの育成
- ③ 自己の力の確認、努力による達成感、充実感を味わう
- ④ 互いに競い合い、励まし、協力する中で友情を深める
- ⑤ 仲間や指導者など多様な人との触れあいによる、様々な人間関係の形成
- ⑥ スポーツや文化芸術活動の楽しさや喜びを味わう
- ⑦ 生涯に渡ってより豊かな生活を送ろうとする資質や能力を育成

9

＜部活動の教育的意義＞

- 学習指導要領解説の見直し（R6.12）より

第3章 教育課程の編成及び実施

第5節 学校運営上の留意事項

- 1 教育課程外の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等
- ② 教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）
- イ 学校と地域クラブとの連携等

（中略）地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、集団の中で切磋琢磨することや、学校の授業とは違った場所で生徒が活躍することなど、生徒の望ましい成長を保障していく観点から、教育的意義を有するものであり、（中略）部活動の教育的意義を継承・発展させつつ、地域での多様な体験や様々な世代との豊かな交流等を通じた学びなどの新しい価値が創出されるよう、学校・家庭・地域の相互の連携・協働に下、スポーツ・文化芸術活動による教育的機能を一層高めていくことが重要である。

- スポーツ基本法（令和7年改定）

第十七条の二 地方公共団体は、（中略）中学校の生徒が継続的に多様なスポーツに親しむことができるよう、地域の実情に応じて、学校、住民が主体的に運営するスポーツ団体（中略）その他の団体との緊密な連携の下に、中学校の生徒が地域においてスポーツに親しむ機会を確保するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

10

＜木津川市の状況＞

- 生徒数の推移

＜右図参照＞

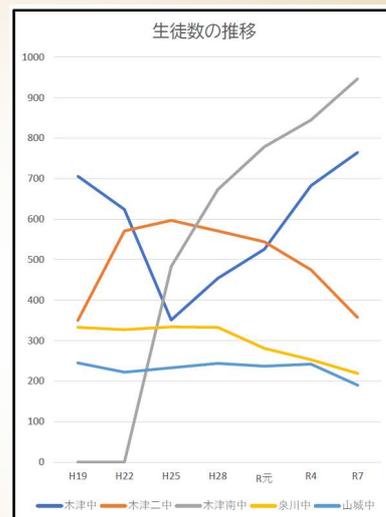
- 部活動の設置数（R7）

木津中 運動系；16部、文化系；3部
 木津二中 運動系；13部、文化系；3部
 木津南中 運動系；15部、文化系；5部
 泉川中 運動系；12部、文化系；2部
 山城中 運動系；8部、文化系；2部

- 入部率（市全体平均）

運動系・文化系の合計では、R5～R7において、

全校生徒の約87～88%が、学校の部活動に入部して活動している。



11

＜木津川市の取組＞

- 中学校長会との意見交換会を定期的実施
 - 令和5年度 2回（11月、1月）
 - 令和6年度 2回（5月、3月）
 - 令和7年度 1回（10月）

※各校の部活動の状況や、部活動の地域展開等に関する意見交換 など
- 令和6年度
 - 京都府地域クラブ活動推進検討委員会における実施事業（スポーツ庁・文化庁委託事業）の取組情報等を収集
- 令和7年度
 - 市内のスポーツ・文化芸術団体への意識調査（アンケートによる）
 - 市内の中学校教職員、児童生徒と保護者の意識調査（アンケートによる）

12

＜市中学校長会との意見交換での主な意見＞

【現状】

- ・部員数が多いため、練習や活動場所の確保が困難。
- ・顧問の複数配置及び、休日の指導体制が困難。
- ・部員数の減少による、部活動精選の検討。
- ・専門（経験）顧問と専門外（未経験）顧問が居る。
- ・地域展開による大会参加が不透明。 など

【取組を進めるために】

- ・指導したいと考える教員には、兼職兼業や、報酬等を支払う制度が必要。
- ・公共交通機関の現状や、保護者の送迎にも配慮した移動手段の確保や支援の検討が必要。
- ・完全に地域クラブ活動にすることは不安要素もある。
- ・土日のみではなく、平日も含めた検討が必要。
- ・進めるにあたって、必要な予算化や手立ての検討。
- ・学校部活動に代わる活動を、学びの場としての位置づけも含めて考える必要がある。 など

13

<意識調査アンケートより>

調査対象；木津川市スポーツ・文化芸術協会等に参加する団体（令和7年6月実施）

○スポーツ分野

- ▶中学生の受入に前向きな意向を示している・・・11団体
受入費用・・・有料；9団体、無料；2団体
- ▶指導者の派遣に前向きな意向を示している・・・7団体
派遣費用（一人一時間当たり）500～4,000円

○文化芸術分野

- ▶中学生の受入に前向きな意向を示している・・・14団体
受入費用・・・有料；12団体、無料；2団体
- ▶指導者の派遣に前向きな意向を示している・・・9団体
派遣費用（一人一時間当たり）1,000～10,000円
- ▶用具のレンタルを前提に、拠点地での指導を希望する団体が多い

14

<意識調査アンケートより>

令和7年11月実施 中学校教職員（回答数102）

【問】部活指導で、重視していることは。【複数回答可】

- | | |
|---------------------------|----|
| ①生徒の自発性・主体性の育成、人間関係の構築・・・ | 77 |
| ②社会性・責任感・マナー | 72 |
| ③チームワーク・協調性・共感 | 71 |
| ④体力・技能の向上 | 42 |
| ⑤多くの生徒が楽しめる指導の工夫 | 41 |

【問】部活動指導において、困っていることや課題は。【複数回答可】

- | | | | |
|---------------------|----|----------------|----|
| ①休日の指導や引率 | 53 | ⑥部員同士の人間関係 | 26 |
| ②校務が忙しく、思うように指導できない | 49 | ⑦自身の在校等時間 | 24 |
| ③自身の指導力の不足 | 37 | ⑧予算不足 | 23 |
| ④大会役員や引率 | 36 | ⑨保護者の理解不足・要望 | 23 |
| ④自身の心身の疲労・休息不足 | 36 | ⑨部員が多いため活動が難しい | 22 |
| ⑤活動場所の不足 | 28 | | |

15

<意識調査アンケートより>

令和7年11月 中学1・2年生（回答数1476）

〔問〕部活動をする目的は。【近いものを2つ選択】

- ①友達と楽しく活動する . . . 53%
- ②体力・技術を向上させる . . . 42%
- ③大会・コンクールで良い成績を取る . . . 41%
- ④チームワークや協力する力を身につける . . . 30%
- ⑤親や先生に入るように勧められた . . . 9%
- ⑥学校部活動以外に取り組めるものがない . . . 4%

〔問〕もし、学校の部活動がなくなった場合、地域で行われるスポーツ・文化芸術活動に参加しようと思うか。

- ア、家の近くなら参加したい . . . 26%
- イ、通学している学校または家の近くの施設が会場ならば参加したい . . . 13%
- ウ、家の近くや通学している学校のいずれでなくても、
求める条件に合うところであれば参加したい . . . 20%
- エ、学校の部活動でないのだから参加したくない . . . 21%
- オ、休日の活動には参加したくない . . . 21%

16

<意識調査アンケートより>

令和7年11月 中学1・2年生保護者（回答数1053）

〔問〕お子様が地域のスポーツ・文化芸術活動に参加するならば、どのような活動が良いか。【複数回答可】

- ①楽しみながら行うスポーツ活動 . . . 66%
- ②競技性・専門性の高いスポーツ活動 . . . 48%
- ③楽しみながら行う文化活動 . . . 35%
- ④専門性の高い文化活動 . . . 23%
- ⑤どの活動も参加させたくない . . . 3%

〔問〕もし、学校の部活動がなくなった場合、地域で行われるスポーツ・文化芸術活動へのお子様の参加の考えは。

- ア、家の近くなら参加させたい . . . 15%
- イ、通学している学校または家の近くの施設が会場ならば参加させたい . . . 59%
- ウ、家の近くや通学している学校のいずれでなくても、
求める条件に合うところであれば参加させたい . . . 17%
- エ、学校の部活動でないなら参加させたくない . . . 9%

17

<意識調査アンケートより>

令和7年12月 小学4～6年生（回答数2136）

〔問〕部活動をする理由は。【複数回答可】（前問で「学校部活動に入りたい」を選んだ児童の内）

- ①友達と楽しく活動したい・・・56%
- ②体力を高めたり上手になりたい・・・51%
- ③新しいことに挑戦したい・・・35%
- ④チームワークや協力することを経験したい・・・27%
- ⑤大会やコンクールで良い成績をとりたい・・・22%

〔問〕もし、学校の部活動が学校以外の地域クラブ活動となれば、参加しようと思うか。

- ア、家の近くなら参加したい・・・39%
- イ、通学している学校または家の近くの施設が会場ならば参加したい・・・18%
- ウ、家の近くや通学している学校のいずれでなくても、
求める条件に合うところであれば参加したい・・・22%
- エ、地域のクラブ活動には参加したくない・・・21%

18

<意識調査アンケートより>

令和7年12月 小学4～6年生保護者（回答数786）

〔問〕お様が地域のスポーツ・文化芸術活動に参加するならば、どのような活動が良いか。【複数回答可】

- ①楽しみながら行うスポーツ活動・・・72%
- ②競技性・専門性の高いスポーツ活動・・・52%
- ③楽しみながら行う文化活動・・・46%
- ④専門性の高い文化活動・・・29%
- ⑤どの活動も参加させたくない・・・1%

〔問〕もし、学校の部活動がなくなった場合、地域で行われるスポーツ・文化芸術活動へのお子様の参加の考えは。

- ア、家の近くなら参加させたい・・・19%
- イ、通学している学校または家の近くの施設が会場ならば参加させたい・・・57%
- ウ、家の近くや通学している学校のいずれでなくても、
求める条件に合うところであれば参加させたい・・・21%
- エ、地域のクラブ活動には参加させたくない・・・3%

19

<令和6年度京都府地域クラブ活動推進検討委員会における事業（スポーツ庁・文化庁委託事業）概要報告より>

- 八幡市・・・コーディネートを民間企業に委託し、指導者・日時・場所等全て調整
女子バスケットボール；月1回程度 移動手段；徒歩、自転車 費用；無料 保険料；生徒一人800円
- 綾部市・・・開放型地域クラブとの連携
陸上競技；月4回程度 移動手段；保護者による送迎 費用；無料 保険料；生徒一人800円
- 宮津市・・・スポーツ団体が主導
陸上競技（宮津市陸上競技協会）；月2回程度 移動手段；徒歩、保護者による送迎 費用；無料 保険料；生徒一人800円
- 宇治田原町・・・教育委員会が主導で実施
バレーボール；月4回程度 移動手段；徒歩、自転車 費用；無料 保険料；生徒一人800円
- 精華町・・・体育・スポーツ協会で運営
ソフトテニス；月2回程度 移動手段；徒歩、自転車、保護者送迎 費用；年間1,000円 保険料；生徒一人800円
- 精華町・・・民間事業者運営型
吹奏楽；月3回程度 移動手段；保護者送迎 費用；年間30,000円 保険料；生徒一人800円
- 福知山市・・・学校、スポーツ協会、教育機関と連携
男子バレーボール；実証（既存の部活動にない種目）
- 舞鶴市・・・市町村で運営（地域団体・人材活用型）
柔道（舞鶴柔道連盟）；月4回程度 移動手段；自転車、保護者送迎 費用；無料 保険料；生徒一人800円

20

<地域展開を進めるために>

「地域展開」を進めることによる効果

- 幼少期から大人まで、切れ目ない継続的なスポーツ・文化芸術活動を保障し、自らの人生をより豊かにしようとする資質や能力の育成ができる。
- 地域の団体や人材等が相互に連携したり、関わり合うことで、木津川市のスポーツ・文化芸術の発展や地域の活性化につながる。
- 地域の多様な人々が生徒に関わることで、新たなコミュニティの形成と、生徒が包み込まれている感覚を味わい、地域を大切に思う意識の醸成につながる。
- 教職員が本来の仕事に専念できることで学校教育の質を高め、多様なこどもたち一人ひとりに寄り添いながら、健やかな成長と社会的自立を支援できる。

「地域展開」を進める上での課題

- 教育的意義を踏まえつつ持続可能な地域クラブ活動の運営体制を構築し、生徒が安心して活動できるようにする。
- 校区毎に実情が異なる地域の特性を踏まえつつ、生徒が主体的に選択して活動できるようにする。
- スポーツ・文化芸術活動毎に必要な、指導者、活動場所、備品、移動手段等の確保。
- 練習成果として、各大会やコンクール等の参加規程等の動向。
- 必要な経費の在り方（受益者負担と公的負担とのバランス）の検討。

21

＜地域展開を進めるために＞

- 木津川市内の生徒が、中学生期のみならず、将来にわたって主体的・継続的にスポーツ・文化活動に親しむ活動機会を保障する。
- 木津川市の実情に応じた、持続可能な地域クラブ活動の在り方を検討する。
- 地理的条件や家庭の経済状況等で体験格差が広がったりしないよう検討する。
- 学校部活動の『教育的意義』を継承しつつ、「新たな価値」の創出を目指す。

22

取組手順のStepイメージ

